

和賀西小学校区適正配置地域協議会に関する概要

和賀西小学校区適正配置検討地域協議会における和賀西小学校の適正配置に関する協議は、令和 7 年 8 月の協議会設立から全 4 回にわたる協議を経て、「笠松小学校との統合を第一に検討すること」という最終結論に至り、令和 8 年 1 月に結果を提出された。

令和 7 年時点で児童数は 36 名で複式学級となっており、継続する見込みであり、その教育的デメリット（集団学習や行事の制限など）の解消が必要と考え、他校との統合が最善と考えた。また、和賀西小保護者や、今後通学予定の未就学児児童の保護者に対してアンケートを実施し、約 62%が他校との統合に賛同した。

協議会は市に対し、統合にあたっての条件として「スクールバスの導入」「事前交流活動の実施」「学童保育の継続のための体制整備」など 8 項目の要望を提示した。

1 協議事項や主な意見

(1) 第 1 回

適正配置検討委員会から計画策定の趣旨説明の後、地域協議会委員から統合に関する所感を確認した。

内容

- ・(保護者を中心に) 統合に前向きな意見が多かった。中には早期統合を望む意見も。
- ・統合以外の手法について協議する必要性など慎重な意見もあり。現状の学校教育に満足を感じている保護者もいた。

(2) 第 2 回

現在の課題について議論した。

内容

- ・PTA 役員負担が大きく助けてほしいなど、統合に賛同の意見。
- ・すでに笠松小と修学旅行や学習発表会を行っているが非効率と感ずる。
- ・2018 年に統合検討した際の経緯を確認したい。
- ・委員の多くが統合を考えており議論を進めるため、統合すると仮定して課題等を議論することに。

(3) 第 3 回

統合した場合のメリットやデメリット、課題などについて協議した。また、2018 年の笠松小学校と和賀西小学校の統合検討の経緯を確認した。

内容

- ・複式学級を含む小規模校のメリットやデメリットのほか、学校統合でのメリットデメリットを意見交換した。
- ・委員の見解を確認し、統合に向けて検討することとした。協議結果をまとめるにあたり、和賀西小児童の保護者に加え、和賀西小へ就学予定の未就学児児童保護者に対してもアンケートを実施することにした。

(4) 第 4 回

協議結果の内容や統合条件などを協議し決定した。また、実施したアンケート結果が共有された。後日保護者向けに協議結果文書を配布して周知することにした。